

山梨峡東地域の農園とのつながりから生まれた 「JP山梨巨峰ソフトミックス」 ジャパン・プレミアムソフトクリーム



2019年8月9日



ソフトクリームの総合メーカー、日世株式会社(本社:大阪府茨木市 社長:岡山 宏)は、「ジャパンプレミアム 山梨巨峰ミックス」を発売いたします。

発売日:2019年9月20日

こだわった国産果実を使用 山梨巨峰ソフトミックス



構想から発売までに3年の歳月がかかりました。

2015年から福島県産の巨峰を使った福島巨峰を販売し、お客様から好評な様子から、山梨県産の巨峰で作りたくて開発者は考えていました。

山梨の農園で一つ一つ丁寧に育てられた希少なぶどうは、生食以外ではワインの原料向けに確保されていることが多く、ソフトクリーム用には確保出来ない状況が続きました。

3年の歳月のうち峡東地域の農園とのつながりができ、2019年にJP山梨巨峰ソフトミックスが実現しました。

広報内容問い合わせ先

日世株式会社マーケティング部企画グループ東京 担当:松島・東

郵便番号 142-0063 東京都品川区荏原 1-21-4 電話:03-5702-9352 FAX:03-5749-9095

press@nissei-com.co.jp

山梨峡東地域産巨峰の特徴



2018年8月現地撮影

峡東地域産の巨峰は、果肉は、甘味が強く締まりがあり、果汁も豊富です。

ピオーネより香りが広がり、個性の主張が強いのが特徴です。

巨峰は、気温の寒暖差がなくなってしまうと果実に色が入らなくなります。

育て方次第で、巨峰の色味や形が決まるほど他の果物と比べてとても繊細な果物です。

ソフトクリームとして、おいしさを保つために皮ごと加工して、皮の内側のうまみを搾り取りました。

峡東地域とは



峡東地域とは山梨市、笛吹市、甲州市を指します。

江戸時代後期からぶどう栽培がされておりました。

この地域には「勝沼ぶどう郷」という駅が存在し、「甲州」という山梨県固有品種で作った甲州ワインも有名です。

ワイナリーも多く、また生食用のぶどうの栽培も盛んであり、山梨県のぶどうの産地として一番有名な地域になります。

参考：<https://recipe-book.ubiregi.com/articles/yamanashi-wine/>

山梨県のぶどうの収穫量



山梨県のぶどうの収穫量は、全国で1位を占めており24%です。

その次に長野18%、山形9%、岡山9%、その他40%の順となっています。

*参考=農林水産省 平成30年産日本なし、ぶどうの結果樹面積、収穫量及び出荷量
http://www.maff.go.jp/j/tokei/kekka_gaiyou/sakumotu/sakkyou_kajyu/nasi_budou/h30/index.html

ジャパンプレミアム シリーズとは



- ・産地地域を特定した国産果実だけを使用した商品ブランドです。
- ・風味を損なわない加工方法により「フルーツそのまま」をコンセプトとした商品をラインアップします。

- ポイント1. ソフトミックスに使用するフルーツ原料は一産地一品種に限定（ブレンドしていません）
- ポイント2. フルーツは適熟・追熟のものを使用しています。
- ポイント3. フルーツの加工段階から「フルーツそのまま」をどう実現するかにこだわり、フルーツのおいしさを最大限に生かす製法を採用しています。

ターゲットは「大人」、さらに訪日外国人観光客

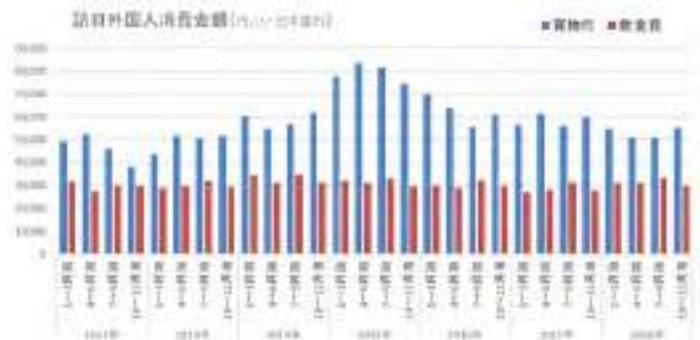


大人向け

- ・当社の自主調査により、ソフトクリームの子主な購入者は、40代の大人だと判明しました。
- ・意識調査から、40代の大人は「日本を強く意識している」と判明しました。
- ・外食産業において安心安全の観点から、国産原料使用の潮流があります。フルーツ原料を純国産、地域限定に絞り込みました。

訪日外国人観光客

- ・近年は訪日外国人観光客が急増しています。
- ・買物代は大きく上下変動していますが、日本国内での飲食費は安定しています。



▲出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」（日世にてグラフ化）
<http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/syouthityousa.html>

ジャンププレミアム「山梨巨峰ソフトミックス」 2019年9月20日発売



商 品	JP山梨巨峰ソフトミックス
名 称	製菓材料 出来上がりのソフトクリームは 氷菓に該当します。
製品規格	無脂乳固形分 0.1(%) フルーツ含有率 20.0(%) (山梨県峡東地域産巨峰20.0(%)

日本農業遺産認定を取得した峡東地域から作られた 巨峰を使用 ジャンププレミアム「山梨巨峰ソフトミックス」

峡東地域は、日本農業遺産認定を取得しております。

日本農業遺産認定とは

世界農業遺産及び日本農業遺産は、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり継承されてきた独自性のある伝統的な農林水産業と、それに密接に関わって育まれた文化、ランドスケープ(※1)及びシースケープ(※2)、農業生物多様性(※3)などが相互に関連して一体となった、将来に受け継がれるべき重要な農林水産業システムを認定する制度です。

※1 ランドスケープ:土地の上に農林水産業の営みを展開し、それが呈する一つの地域的まとまり

※2 シースケープ:里海であり、沿岸海域で行われる漁業や養殖業等によって形成されるもの

※3 農業生物多様性:食料及び農業と関わりのある生物多様性及び遺伝資源が豊富であること



2018年3月

日本農業遺産認定

日世株式会社につきまして

1947年に日系二世が貿易商として「株式会社二世商会」を設立
1951年にソフトクリームを初めて日本に紹介した日本のソフトクリームのパイオニアにして総合メーカーです。
※1952年に日世株式会社に社名変更。
ソフトクリーム液体原料(ミックス)、可食容器のコーン、ソフトクリーム製造機であるフリーザーを製造販売しています。

